第３号様式（第６条関係）

令和８年　８月　31 日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　　戸田市手話通訳問題研究会

代表者職・氏名　　会長　秋葉　美千代

所在地　　[redacted]

事業名	手話で広がるハッピーな街	
SDGs の 該当ゴール	SDGs3　すべての人に健康と福祉を SDGs10　人や国の不平等をなくそう SDGs11　住み続けられるまちづくりを	
確定前交付の希望	☑　希望する	□　希望しない
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	[redacted]
	E-mail	[redacted]
ホームページ	http://	
設立年月日	平成 14 年　　1 月　　3 日　　設立	
会員数	３７　人	
年会費	13,600 円（内、戸田通研 3,600 円）円／１年間	
団体の目的	・聴覚障害者団体である戸田市聴力障害者協会とともに、 聴覚障害者達の福祉の向上、手話の普及と理解を目的に活動。	

主な活動実績	・毎週２回　定例会 ・戸田ふるさと祭り　手話歌、手話劇参加 ・上戸田ゆめまつり　手話体験指導 ・福祉の杜まつり　手話体験指導、手作り品バザー ・手話講習会の講師、アシスタント担当 など
これまでの補助金等の援助状況	平成23～27年度やさしいまちづくり応援助成金　500,000円 平成29年度　やさしいまちづくり応援助成金　280,000円
団体ＰＲなど	・戸田市では令和２年６月に手話言語条例が制定され、手話が言語であるという認識に基づき、手話への理解促進と、すべての市民が共生できる地域社会の実現を目的としています。昨年度はデフリンピックが東京で開催され、戸田市出身の選手も出場しました。少しずつ聴覚障害者や手話について周知されてきたところですが、まだまだ認知されていないところもあります。聴覚障害者の更なる福祉の向上、手話の普及を目指しています。

≪**事業企画書**≫

1　事業の目的・必要性・課題

ＳＤＧｓの該当ゴール： SDGs3　すべての人に健康と福祉を SDGs10　人や国の不平等をなくそう SDGs11　住み続けられるまちづくりを
SDGs3　すべての人に健康と福祉を ・現在、戸田市の手話通訳申込受付時間が平日の決まった時間となっているため、土日や祝日の突然の病院通院時の手話通訳派遣が出来ない状況である。事業を通して、聴覚障害者には手話通訳を必要としている人がいることを知って頂き、聴覚障害者がいつでも手話通訳派遣制度が受けられる等、気軽に福祉サービスが受けられるようになる。 SDGs10　人や国の不平等をなくそう。 ・JR 戸田公園駅のみどりの窓口がなくなり、機械での対応の場合、音声のみなため、手話通訳者や聞こえる人がいなくては利用できない。今回の事業を通して、聴覚障害者には音声ではなく文字情報や視覚的情報が必要であることを知っていただき、市民に聴覚障害者に平等な機会を設けることを考えてもらう。 SDGs11　住み続けられるまちづくりを ・防災放送は自宅に文字表示機能付き防災ラジオがある場合、文字での情報が得られるが、自宅以外であると放送は音声のみなので十分な情報が届かないということがある。今回の事業により、災害時の情報が聴覚障害者にきちんと届くように考えるキッカケとなり、また災害時避難所でも聞こえない人に対して市民が気づいて配慮してくれるようになる。

2　事業の具体的内容

聴覚障害について周知・啓発を図るための講演会を実施 【日時】11 月 14 日土曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 【場所】さくらパル　2 階　会議室 【講師】善岡修氏 聴覚障害者、人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみ元代表、元 NHK「みんなの手話」番組講師、テレビドラマ「星降る夜に」手話監修、ダイアログ・イン・サイレンス アテンド 【対象】どなたでも 【定員】50 名ほど 【料金】1 人 500 円 【申込み】例会時に直接申込、またはメールにて受付。 申込み期間、9 月 27 日～当日 【周知】市内公共施設へのチラシ配架、市公式 SNS での周知 （障害福祉課、戸田市ボランティア・市民活動支援センター）。 【実施体制】当会員 5 名、当日ボランティア 10 名

」３　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
令和８年９月 27 日	チラシ、SNS などで周知、募集開始。
11 月 14 日	講演会開催
11 月 20 日	反省会
令和９年１月 25 日	事業報告

４　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

・講演会の参加者 50 名
・参加者のアンケート「満足」80%以上

≪**収支予算書**≫

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	50,000 円	
	その他		
自己資金			
会費			
利用者負担金		25,000 円	参加費 500 円×50 名=25,000 円
協賛金・寄附			
その他			
合　計		75,000 円	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳
補助対象経費	謝礼金	57,000 円	講師１名、手話通訳者２名 講師　30,000 円 手話通訳者　13,500 円×2 名＝27,000 円
	交通費	6,494 円	講師１名、手話通訳者２名交通費 講師 二宮駅⇔戸田公園駅　片道 1,782 円×2 =3,564 円

			手話通訳者 青井駅⇔戸田公園駅　片道 749 円×2 =1,498 円 元山駅⇔戸田公園駅　片道 716 円×2 =1,432 円	
	食糧費	450 円	飲み物代（講師、手話通訳者 2 名分）	
	消耗品費	2,756 円	用紙代、文房具代	
	印刷製本費	2,000 円	事業チラシ TOMATO 印刷機使用 10 円×200 枚=2,000 円	
小　計		68,700 円	内訳	補助金申請額：50,000 円
				自主財源：18,700 円
補助対象外経費	使用料	6,300 円	会場使用料 さくらパル　2 階　会議室 1 時間 1,260 円×5 時間 ＝6,300 円	
小　計		6,300 円		
合　計		75,000 円		